

手術支援ロボット「hinotori™ サージカルロボットシステム」を用いた シンガポールと愛知の2拠点間での遠隔手術の実証実験に成功

株式会社メディカロイド（本社：兵庫県神戸市中央区、代表取締役 社長 CEO 宗藤康治 以下「メディカロイド」）は、約 5,000km 離れたシンガポールと愛知の 2 拠点間で、手術支援ロボットシステム「hinotori™ サージカルロボットシステム」（以下「hinotori™」）を用いた、遠隔手術の実証実験（以下、本実証）に成功しました。シンガポールと日本を結んだ実証実験は国内初です。

遠隔手術とは、異なる医療提供施設間において、指導医が情報通信技術を用いて手術の支援や指導を行うことをいいます[※]。離れた 2 拠点間で一つの手術支援ロボットを操作する技術が実現すると、熟練医師の手術支援を離れたところからでも受けることができ、世界のどこであっても高度な外科医療を提供し、医療の格差是正といった国際的課題の解決に貢献することができます。また、遠隔手術指導により、世界中の医師の教育の質の向上にも貢献します。

本実証は、シンガポール国立大学に「hinotori™」のサージョンコックピットを、愛知の藤田医科大学内にあるトレーニング施設「メディカロイド インテリジェンス ラボラトリー 名古屋（略称：MIL™ - Nagoya）」には、「hinotori™」のオペレーションユニットとサージョンコックピットを設置し、約 5,000 km離れた環境で、遠隔手術および遠隔手術支援が実施できることを確認するものです。本実証は、10月9日から12日にかけて行っています。9日に行われた評価においては、国内の実証実験として初めてシンガポールから操作を実施、模擬臓器を用いた手技の実施に成功しました。

「hinotori™」は、9月13日付でシンガポールの Health Sciences Authority（健康科学庁）より販売承認を取得しております。

遠隔手術においては研究開発段階ですが、今後、世界のどこであっても高度な外科医療が受けられる環境を提供できるよう、実臨床に向けた技術開発を推進していきます。

私たちメディカロイドは、患者様、患者様のご家族、医療従事者、そのすべての方々が、安心して暮らせる、豊かな社会へ貢献してまいります。

※：一般社団法人日本外科学会 遠隔手術ガイドラインより引用

【参考】

手術支援ロボット「hinotori™ サージカルロボットシステム」シンガポールにおける販売承認取得のお知らせ

https://www.medicaroid.com/release/pdf/230920_ja.pdf

【hinotori™ サージカルロボットシステムについて】

一般的名称：手術用ロボット手術ユニット

販売名：hinotori™ サージカルロボットシステム

製造販売元：株式会社メディカロイド



オペレーションユニット（左側） サージョンコックピット（右側）

以 上

お問い合わせ先：株式会社メディカロイド 経営企画部
[神戸] Tel : 078-303-8769